

令和6年地下水揚水量報告書の記入要領

1 報告対象期間

令和6年1月1日～令和6年12月31日までの1年間

※年の途中で休止・廃止又は設置した場合も報告の対象となります。（記入方法は、P.7を参照してください。）

2 提出いただく書類

- 第18号様式（表紙）・・・揚水施設の届出者名、事業所の概要等の記入
- 別紙1・・・事業所の総揚水量データ
- 別紙2・・・井戸ごとの揚水量データです。事業所にある井戸が1本の場合は別紙2の作成は不要です。温泉井戸、休止井戸、非常用等も含めて、井戸の本数分作成してください。

様式第18号（表紙）

別紙1、2

第18号様式（第45条関係）

地下水揚水量報告書

東京都知事 殿 住所 氏名

（法人にあっては名称、代表者の氏名及びある事業所の所在地）

郡民の健康と安全を確保する環境に関する条例 第97条 の規定により、地下水の揚水量を次のとおり報告します。

工場・指定作業場又はその他の事業場等の名称			
工場・指定作業場又はその他の事業場等の所在地			
業種・作業の種類			
揚水施設の数	本	地下水揚水量	△別紙（ ）のとおりに
地下水揚水量	△別紙（ ）のとおりに		
揚水機の使用量	△別紙（ ）のとおりに		
年間水取別水使用量	地下水	上水道	工業用水
(m ³)	(m ³)	(m ³)	(m ³)
(その割合)	(%)	(%)	(%)

※参考 1 吐出口断面（数値に○）
6以下
6以下
21以下
21以下
2 設置年月日（数値に○）
平成13年3月31日以前設置
平成13年4月1日以降設置

備考 全印の欄には記入しないこと。

（日本産業規格A列4番）

地下水揚水記録（年分）

別紙1（総計用）

月	日	揚水量 (m ³)	用途別揚水量 (m ³)					その他 ()	一日平均揚水量 (m ³)	日最大揚水量 (m ³)	水位 (m)	静止水位	揚水水位	水温 (℃)	
			製造工程用	冷却用	洗浄便所用	洗濯設備用	公共設備用								
1月															
2月															
3月															
4月															
5月															
6月															
7月															
8月															
9月															
10月															
11月															
12月															
計															

備考 1 揚水施設が1以上あるときは、総計用のほか、各揚水施設別に別紙を使用して記入すること。
2 「日平均揚水量」の欄は、揚水量を算出（例：1月：31日、2月：28日又は29日）で除した値で記入すること。
3 用途別の揚水量を把握していないときは、「用途別揚水量内訳」の欄は空白で記入すること。
4 水位はその月の最低値を記入すること。

別紙2 揚水施設ごとのデータ ⇒ 別紙1 事業所総計 ⇒ 表紙

の順番で作成すると、効率的に作成できます。

3 揚水量データの記入方法

(1) 記入方法

記入例を参考にして、設置している量水器（水量メーター）の記録に基づき、各井戸ごとに、各月ごと・用途ごとの揚水量を集計し記入します。（平成 13 年 4 月以降設置の揚水施設には、量水器の設置が義務付けられています。）

※ 用途の区分は、巻末の「別表 用途区分（別紙 1、2 用）」を参照。

- ★ 用途の「その他」のうち複数項目が該当する場合は、コード番号ごとに列を設けて、それぞれ集計して記入してください。その際、使用しない欄の用途を書き換えて、記入しても構いません。（P.6 参照）
- ★ 用途ごとに水量を計測していない場合でも、通常の使用比率等で合計値を案分して用途ごとに振り分けて記入してください。
- ★ 古い井戸で、量水器を設置していない場合は、水道事業者が発行する「水道・下水道ご使用量のお知らせ」、「水道料金・下水道料金請求書」又は「水道ご使用量・今回料金等のお知らせ」を参照するか、各営業所にお問い合わせください。「お知らせ」などから 2 ヶ月間の使用量が読み取れますので、1 ヶ月ずつに分けて報告書に記入してください。
- ★ 1 日平均揚水量は、揚水量を暦日数（1 年は 366 日、1 月は 31 日、6 月は 30 日など）で割算した値を記入してください。
- ★ 静止水位、揚水水位、水温などのデータがあるときは、その月の最低値を記入してください。

(2) 単位、数字の取り扱い方

水量の単位は、いずれも m^3 （立方メートル）です。L（リットル）ではありませんので注意してください。

なお、1 t（トン） = 1 m^3 （立方メートル）

1 L（リットル） = 0.001 m^3 （立方メートル） です。

原則として、小数点以下第 1 位を四捨五入した数字（整数）を記入します。ただし、 10 m^3 未満の場合は小数点以下第 1 位まで記入してください。

注）お問い合わせの際に双方で確認できるよう、お手元に写し（コピー）を保管しておいてください。

控えの返送はありませんので、受領印を押した控えが必要な場合は、提出部数を 1 部追加し、切手を貼った返信用封筒を必ず同封して送付してください。

記入例

「第 18 号様式（表紙）」

提出は、揚水施設を設置している法人または個人（届出者）となります。住所（法人の所在地）・法人名（名称）・代表者名（または個人名）を記入してください。

第 18 号様式（第 45 条関係）

地下水揚水量報告書

〇〇区長 殿

年 月 日

住所 〇〇区△△町 9-9-9

株式会社〇〇〇〇〇

氏名 代表取締役 東京 太郎

（法人にあっては名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）

押印は不要です。

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 第 97 条
第 135 条 の規定により、地下水の揚水量を次のとおり報告します。

主たる業種や形態をわかるように記入してください。

原則、ポンプでくみ上げを行うすべての揚水施設が対象です

工場・指定作業場又はその他の事業場等の名称	株式会社〇〇〇〇〇 △△工場			
工場・指定作業場又はその他の事業場等の所在地	〇〇区△△町 9-9-9			
業種・作業の種類	食料品製造業			
揚水施設の数	1 本	揚水施設担当者所属氏名 鶴巻 新宿一郎 電話番号 03-XXXXX-XXXX		
地下水揚水量	3.060 m ³ △別紙 (1) のとおり			
揚水機の出力 (kW)	1.5 kw			
年間水源別水使用量	地下水	上水道	工業用水道	その他
61,200 (m ³) (その割合)	3,060 m ³ 5 %	58,140 m ³ (95 %)	m ³ (%)	() m ³ (%)

内容についてお問い合わせすることがあります。報告書を記入された方の連絡先を記入してください。

事業所で使用している、「総水使用量」です。各水源を合計してください。

地下水使用量は、別紙 1 の総合計と同じ数値になります。

吐出口断面積（事業所内合計）、井戸の設置年について、該当するものに○をしてください。

備考
1 吐出口断面積（該当に○）
6 cm以下
6 cm超～21 cm以下
21 cm超
2 設置年月日（該当に○）
平成 13 年 3 月 31 日以前設置
平成 13 年 4 月 1 日以降設置

（日本産業規格 A 列 4 番）

「別紙 1」

別紙1は、事業所の揚水量総計を記入する用紙です。

事業所内の井戸が1本の場合は、別紙2の記入例を参考にして、別紙1に記入してください。

別紙2の合計を別紙1に記入します。

用途ごとに水量を計測していない場合は、通常の使用比率等で合計値を案分して、用途ごとに振り分けて記入してください。

地下水揚水記録 (□□ 年分)

別紙1 (総計用)

事業所名 株式会社○○○○ △△工場

事業所の名称

稼働日数	揚水量 (m³)	用途別揚水量内訳 (m³)							一日平均揚水量 (m³)	日最大揚水量 (m³)	水位 (m)		水温 (℃)
		製造工程用	冷却用	冷暖房用	水洗便所用	洗車設備用	公衆浴場用	その他 (1 飲用) (2 散水用)			静止水位	揚水水位	
1月	20	200	135					15 50	6.5	1.5	3	8	17
2月	19	180	135					15 30	6.4	1.2	3	9	17
3月	22	260	210					20 30	8.4	1.1	3	9	17
4月	22	270	210					20 40	9.0	1.5	3	8	18
5月	23	290	220					20 50	9.4	1.4	3	9	18
6月	22	280	210					30 40	9.3	1.3	3	8	18
7月	23	290	210					30 50	9.4	1.7	4	10	18
8月	19	260	130					30 100	8.4	1.4	4	10	18
9月	22	280	150					30 100	9.3	1.5	4	8	18
10月	23	300	230					20 50	9.7	1.5	3	8	17
11月	22	280	210					20 50	9.3	1.5	3	8	17
12月	19	170	125					15 30	5.5	1.0	3	9	17
計	256	3,060	2,175					265 620	8.4	1.7			

表紙の「地下水使用量」と同じ値。

備考 1 揚水量が20以上あるときは、総計用のほか、各揚水施設別に別紙を使用して記入すること。
2 「1日平均揚水量」の欄は、揚水量を暦日数(例：1月：31日、2月：28日又は29日)で除した値で記入すること。
3 用途別の揚水量を把握していないときは、「用途別揚水量内訳」の欄は推計で記入すること。
4 水位はその月の最低値を記入すること。

その他の用途のコードは、この要領の巻末に一覧表がついています。複数種類ある場合は、枠を分けてそれぞれ記入してください。

事業場に井戸が1本の場合は、水位・水温は別紙1に記入。月の最低値を記入します。

一日平均揚水量 (月ごと) は、
揚水量 ÷ (暦日) です。

例) 1月の平均は月の稼働日が20日でも、
 $200 (\text{m}^3) \div 31 (\text{日}) = 6.5 (\text{m}^3/\text{日})$ です。
一日平均揚水量 (年) は、
 $3,060 (\text{m}^3) \div 366 (\text{日}) = 8.4 (\text{m}^3/\text{日})$ となります。

「別紙 2」

別紙2は井戸ごとの揚水量を記入する用紙です。

用途ごとに水量を計測していない場合は、通常の使用比率等で合計値を案分して、用途ごとに振り分けて記入してください。

井戸の名称

事業所の名称

地下水揚水記録 (〇〇 年分)

別紙2 (揚水施設の名称又は番号: No. 1号井)
事業所名 株式会社〇〇〇〇 △△工場

稼働 日数	揚 水 量 (m^3)	用途別揚水量内訳 (m^3)							一日 平均 揚水量 (m^3)	日 最 大 揚水量 (m^3)	水位 (m)		水 温 ($^{\circ}\text{C}$)	
		製 造 工 程 用	冷 却 用	冷 暖 房 用	水 洗 便 所 用	洗 車 設 備 用	公 衆 浴 場 用	其 他 (2 款 水 用)			静 止 水 位	揚 水 水 位		
1月	20	160	135						25	5.2	8.0	3	8	17
2月	19	150	135						15	5.4	8.0	3	9	17
3月	22	225	210						15	7.3	10	3	9	17
4月	22	230	210						20	7.7	10	3	8	18
5月	23	245	220						25	7.9	10	3	9	18
6月	22	230	210						20	7.7	10	3	8	18
7月	23	235	210						25	7.6	9.0	4	10	18
8月	19	180	130						50	5.8	7.0	4	10	18
9月	22	200	150						50	6.7	8.0	4	8	18
10月	23	255	230						25	8.2	10	3	8	17
11月	22	235	210						25	7.8	10	3	9	17
12月	19	140	125						15	4.5	6.0	3	9	17
計	256	2,485	2175						310	6.8	10			

備考 1 「1日平均揚水量」の欄は、揚水量を暦日数（例：1月：31日、2月：28日又は29日）で除した値で記入すること。
 2 用途別の揚水量を把握していないときは、「用途別揚水量内訳」の欄は推計で記入すること。
 3 水位はその月の最低値を記入すること。

その他の用途のコードは、この要領の巻末に一覧表がついています。複数種類ある場合は、枠を分けてそれぞれ記入してください。

一日平均揚水量（月ごと）は、
 $\text{揚水量} \div (\text{暦日})$ です。

例) 1月の平均は、稼働日が20日でも、
 $160 (\text{m}^3) \div 31 (\text{日}) = 5.2 (\text{m}^3/\text{日})$ です。
 一日平均揚水量（年）は、
 $2,485 (\text{m}^3) \div 366 (\text{日}) = 6.8 (\text{m}^3/\text{日})$
 と求めます。

その他の用途が複数ある場合の例

地下水揚水記録 (〇〇 年分)

✕ 3つの用途の合計値を 1 列で記入してしまっています。

				事業所名 株式会社〇〇〇〇〇 △△工場					
(m)				内訳 (m)	一日平均揚水量 (m)	日最大揚水量 (m)	水位 (m)		水温 (℃)
洗車設備用	公共施設等利用	その他 (1, 2, 4)	その他 (3)	一日平均揚水量 (m)	日最大揚水量 (m)	静止水位	揚水水位		
		25		5.2	8.0	3	8	17	
		15		4	8.0	3	9	17	
3月	22	225	210	15	3	10	3	9	17
4月	22	230	210	20	7	10	3	8	18
5月	23	245	220	25	9	10	3	9	18
6月	22	230	210	20	7	10	3	8	18
7月	23	235	210	25	6	9.0	4	10	18
8月	19	180	130	50	8	7.0	4	10	18
9月	22	200	150	50	7	8.0	4	8	18
10月	23	255	230	25	8.2	10	3	8	17
11月	22	235	210	25	7.8	10	3	9	17
12月	19	140	125	15	4.5	6.0	3	9	17
計	256	2,485	2175	310	6.8	10			

備考 1 「一日平均揚水量」の欄は、揚水量を暦日数（例 1月：31日、2月：28日又は29日）で除した値で記入すること。

2 用途別の揚水量を把握していないときは、「用途別揚水量内訳」の欄は推計で記入すること。

3 水位はその月の最低値を記入すること。

望ましい例

○ 3つの用途に案分します。

例) 飲用にはいつも同じ量を使い、そのほかは、散水と洗濯に半分ずつ使用している場合。

明確な根拠が無い場合でも、設置者様の考える案分で数値の記入をお願いします。

望ましい
例

の用途に案分します。
はいつも同じ量を使い、そのほ
水と洗濯に半分ずつ使用してい

が無い場合でも、設置者様の考える案
入をお願いします。

水 記 録 （ 〇 〇 年 分 ）				事業所名 株式会社〇〇〇〇〇 △△工場				
内訳 (m)				一日平均揚水量 (m)	日最大揚水量 (m)	水位 (m)		水 温 (℃)
1 (洗車設備用)	2 (公共施設用)	3 (その他)	4 (洗濯用)			静止水位	揚水水位	
5.0	10	10		5.2	8.0	3	8	17
5.0	5.0	5.0		5.4	8.0	3	9	17
5.0	4.1	6.0		7.4	10			
5.0	7.0	8.1		7.7	10			
5.0	10	10		7.9	10			
5.0	7.0	8.0		7.7	10			
5.0	10	10		7.6	9.0			
5.0	22	23		5.8	7.0			
5.0	22	23		6.7	8.0			
5.0	10	10		8.2	10			
5.0	10	10		7.8	10			
5.0	5.2	5.2		4.5	6.0	3	9	17
60	122	128		6.8	10			

「その他」の用途が
2つ以上ある場合
は、使わない欄の用
途を書き換えて、記
入してください。

8月	19	180	130				
9月	22	200	150				
10月	23	255	230				
11月	22	235	210				
12月	19	140	125				
計	256	2,485	2175				

備考 1 「一日平均揚水量」の欄は、揚水量を暦日数（例 1月：31日、2月：28日又は29日）で除した値で記入すること。
2 用途別の揚水量を把握していないときは、「用途別揚水量内訳」の欄は推計で記入すること。
3 水位はその月の最低値を記入すること。

「その他」の用途が2つ以上ある場合は、使わない欄の用途を書き換えて、記入してください。

1 年間稼働しなかった場合の記入例

地下水揚水記録 (□□ 年分)

別紙 2 (揚水施設の名称又は番号: **N o . 1 号井**) 事業所名 **株式会社**

稼働 日数	揚水 量 (m³)	用途別揚水量内訳 (m³)							その他 ()	一日平均揚水量 (m³)	日最大揚水量 (m³)
		製造 工程用	冷 却 用	冷 暖 房 用	水 洗 便 所 用	洗 車 設 備 用	公 衆 浴 場 用				
1月											
2月											
3月											
4月											
5月											
6月											
7月											
8月											
9月											
10月											
11月											
12月											
計	0	0									

1 年間、1 日も稼働しなかった場合は、稼働日数と揚水量に「0」を記入してください。

※ 1 「1日平均揚水量」の欄は、揚水量を暦日数（例 1月：31日、2月：28日又は29日）で除した値で記入すること。
 ※ 2 「1日最大揚水量」の欄は、揚水量を暦日数（例 1月：31日、2月：28日又は29日）で除した値で記入すること。
 ※ 3 用途別の揚水量を把握していないときは、「用途別揚水量内訳」の欄は推計で記入すること。

年の途中で休止（廃止）になった場合の記入例

地下水揚水記録

別紙 1 (総計用)

稼働 日数	揚水 量 (m³)	用途別揚水量内訳 (m³)							その他 (1 飲用) (2 散水用)	一日平均揚水量 (m³)	日最大揚水量 (m³)	静止 水位	揚水 水位	水 温 (℃)	
		製造 工程用	冷 却 用	冷 暖 房 用	水 洗 便 所 用	洗 車 設 備 用	公 衆 浴 場 用								
1月	20	200	135						15	50	6.5	1.5	3	8	17
2月	19	180	135						15	30	6.4	1.2	3	9	17
3月	22	260	210						20	30	8.4	1.1	3	9	17
4月	22	270	210						20	40	9.0	1.5	3	8	18
5月	23	290	220						20	50	9.4	1.5	3	9	18
6月	22	280	210						30	40	9.3	1.5	3	8	18
7月	以降、休止（廃止）														
8月															
9月															
10月															
11月															
12月															
計	128	1,480	1,120						120	240	4.1	1.5			

年の平均は、暦日の 366 日で割ります。
 $1,480 (\text{m}^3) \div 366 (\text{日}) = 4.0 (\text{m}^3/\text{日})$ と求めます。

備考 1 揚水施設が2以上あるときは、総計用のほか、各揚水施設別に別紙を使用して記入すること。
 2 「1日平均揚水量」の欄は、揚水量を暦日数（例 1月：31日、2月：28日又は29日）で除した値で記入すること。
 3 用途別の揚水量を把握していないときは、「用途別揚水量内訳」の欄は推計で記入すること。

注) 年の途中で廃止した場合は、手続きが必要です。

- ・工場・指定作業場 (軽微な変更又は、届出)
- ・上記以外の事業者・個人 (様式なし。報告をお願いします。)

別表 用途区分 (別紙1、2用)

再生利用する場合は、最初の用途を選択してください。

例) 井戸 → 冷却水使用 → タンク → 床清掃使用 → 排水 の場合、「冷却用」を選択。

用 途	用途別の内容	
製造工程用	製造工程に関する全ての用途に使用（食品原料用に使用するものを含む。）	
冷 却 用	工場の機械冷却設備や製品冷却のために使用	
冷暖房（空調）	暖房ボイラー、冷房用冷凍機、クーリングタワー等、室内空調用などに使用	
水洗便所用	水洗便所用に使用（し尿浄化槽を含む）	
洗車設備用	自動車洗車設備用	
公衆浴場用	公衆浴場用（銭湯、スーパー銭湯、サウナ風呂等の特殊浴場を含み、旅館、病院等の浴室用は除く。）	
そ の 他 （コード番号を選択して記入してください。）	1	飲用（上水道、専用水道、飲料水、厨房など）
	2	環境用水（水質改善を目的とした池・水路への補給、植栽用・散水など環境保全に使用）
	3	プール等、公衆浴場用以外の浴用（旅館、病院等の浴室用）
	4	洗濯（クリーニング工場、コインランドリー等を含む。）
	5	排水処理・排ガス処理（し尿処理用希釈水を含む。）
	6	釣堀等（生簀・動物飼育用に使用するものを含む。）
	7	土壌汚染対策用、地下水汚染対策用
	8	非常災害用（非常災害用揚水設備等の維持管理で揚水するものを含む。）
	9	農業用、その他上記のどれにも属さないもの

提出前にチェック

※本チェックシートは御提出頂く必要はございません。

以下の内容が異なっている場合、後日お問合せさせていただくことがございます。提出前に今一度御確認ください。

様式	チェック項目	チェック ☒
すべて	お問い合わせの際に双方で確認できるよう、お手元に写し（コピー）を保管しておいてください。（2ページ参照）	☐
別紙 1 別紙 2	縦（月ごと）と横（用途ごと）の合計の計算は合っていますか？	☐
	平均値の計算方法は正しいですか？月平均と年平均値の計算方法を確認してください。（3、4ページ参照） <u>※うるう年に該当する場合、年間日数にご注意ください。</u>	☐
	（井戸が複数ある場合） 別紙 1 は、複数の別紙 2 の合計値です。計算はあっていますか？	☐
	（「その他」の用途がある場合） 用途のコード番号を記入しましたか？（8ページ参照）	☐
	（「その他」の用途が <u>複数</u> ある場合） 用途ごとに分けて記載していますか？（6ページ参照）	☐